



「記念事業」
生徒が主役で
吹奏楽部・放送
部・美術部がコ
ラボレーション
したステージ



◆創立80周年記念式典を挙行

11月12日(金)、仙台高校創立80周年記念行事を東京エレクトロンホール宮城(県民会館)にて開催しました。「生徒が互いの活動を見て応援し、認め合う学校づくりを推進するとともに、母校に誇りを持ち、勉学と部活動を両輪とした学校生活を営む意欲を醸成する」をコンセプトとして計画を進めて参りました。この度、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点で、規模を縮小すること、感染症対策を徹底することで実施いたしました。皆様のご理解・ご協力を頂きながら無事に開催することができましたことに感謝いたします。誠にありがとうございました。



校長式辞 岩井 誠 ▼本日は、仙台市副市長の藤本章様をはじめ、同窓の御来賓の皆様、歴代の校長先生方、同じく歴代の父母教師会会長ならびに同窓会会長の皆様ほか、多くの方々にご臨席を賜り、本校創立八十周年記念式典を、かくも盛大に開催できることに心より感謝申し上げます。▼本校八十年の歴史は、決して順風満帆であったわけではございません。当時、広瀬川ほとりにあり、瀟洒な造りで、充実した施設・設備を誇った仲ノ町校舎を、開校からわずか五年で空襲により焼失してしまうなど、時代に翻弄され幾多の辛酸をなめてきました。しかし、その都度、仙台市のお力添えを賜りながら、教職員は高い教育機会提供のため、先進的な教育活動を積極的に取り入れ、生徒は高い自治意識を持って、自らを律しながら、授業や学校行事に取り組むことにより、数々の難局を乗り越え、現在に至っております。▼長い歴史の中で、本校が一貫して力を注いできたことの一つが「教養教育の充実」です。このことは、開校当初から強く意識されていたことであり、昭和十五年当時の仙台市長であった渋谷徳三郎氏は、本校の前身である仙台中学校新設の趣旨について、教育はもっと広く、大きな志で行われるべきだと述べられました。▼昭和五十年、現在の国見校舎に移転し、男女共学となった年に定められた教育目標には、「知識偏重教育を廃し、豊かな情操を陶冶する。そのために芸術教育を重視する。また教育全体が芸術的でなければならない」と、学問の原点回帰を謳う内容が盛り込まれました。その後、平成二十一年(二〇〇九)、現在の「進学重視型単位制高校」になってからも、できるだけ多くの教科・科目を設置することで、様々な角度から物事を見る力や、自主的かつ総合的に考え、的確に判断する力を培うことにより、豊かな人間性を涵養し、自己の力を社会に還元する人間を育てる教育を行っております。▼本校校歌の歌詞に「大鵬の高き誇りを 育みて羽搏くごとく」とあります。中国の思想家、荘子の故事に登場する空想上の巨大な鳥である大鵬は、雲のように大きな翼を持ち、ひとたび天高く舞い上がると、力強く羽ばたきながら、はるか南の海に向かって悠々と飛んでいく。その「大鵬の高き誇り」とは、世界を俯瞰しながら大きなスケールで物事を考え、大事業を成し遂げようとする強い意気込みであり、本校の「自由で進取」「自主自立」の校風に通ずるものです。仙台高校生たちは、高台に建つ国見の校舎から、日々洋々たる太平洋を眺め、水平線の先に己の未来をイメージしながら、勉学や部活動に励み、卒業と同時に大鵬の志を胸に、たくましく社会に羽搏いていきます。▼より良い学校教育を通じてより良い未来社会を作るために、そして本校生徒がその担い手として存分に活躍できるように、これまでの八十年間で培ってきた歴史と伝統、そして全ての教科に満遍なく取り組む教養教育を軸として、新たな歴史を刻んでまいります。(抜粋)



◆午前の部、生徒公演Ⅰでは、演劇部が創作劇『missing』(作:杉内浩幸教諭)を披露しました。東日本大震災から10年。小学生だった彼らが高校生になり、今は、新型コロナウイルス感染症パンデミックの中にある。こうした時代を懸命に生きる若者の姿を描いた演劇に、終演後、会場の拍手が鳴り止みませんでした。◆午後の部の、記念式典では、加藤吉男実行委員会会長(同窓会長)のご挨拶、岩井誠校長の式辞に続き、藤本章副市長が郡和子市長からの祝辞を代読されました。その後、感謝状贈呈が行われ、続いて、生徒代表、佐藤秀昭現生徒会長(2年)が「私たちが意志を持ちしっかり歩みます」と力強く挨拶しました。記念講演では、本校卒業生で現仙台89ERS代表取締役社長の志村雄彦氏が「自主自立の精神は今も健在、努力を惜しまず頑張れ」と現役生徒らを激励しました。その後の生徒公演Ⅱでは、吹奏楽部の演奏に合わせて、放送部が「おきなくさ」(宮沢賢治)を朗読、スクリーンには美術部が作成した絵が次々に映し出されました。三つの部が合同で作上げた舞台に触れ、感動し涙を浮かべる生徒もいました。続いて、今夏全国大会で第3位と大活躍したダンス部が3年生も参加



してのオールメンバーでステージいっぱいには躍動しました。エネルギッシュなダンスに来賓の皆様や生徒達から割れんばかりの拍手がおくれました。

◆司会の若生哲雄氏



◆加藤吉男実行委員会会長



◆藤本章仙台市副市長



◎記念講演師に花束贈呈をする菊池真優花さん
前生徒会長(3年)

創立80周年記念講演講師に志村雄彦氏

株式会社仙台89ERS代表取締役社長 志村様にご講演頂きました。演題『ナイナーズがつなぐ地域と未来』



打ち上げ花火で祝福！

11月11日、創立80周年記念式典前夜に仙高花火を打ち上げました。寒空に輝き瞬く間に消えゆく美しい花火の光も、仙高生の記憶に確かに刻まれたことでしょう。



◎部分皆既月食、校舎屋上から！



11月19日、天文学部は屋上のプラネタリウムや小型望遠鏡を用いて月食を観察しました。



◆「いじめに関する子どもの思い」発表会に参加

11月16日、国際センターで開催された仙台市子供未来局主催の発表会に本校生徒会執行部員が参加。本校の取り組みについて発表しました。「いじめも人権侵害。共感の心で、他を大切に」と仙高のエンパシー教育を紹介しました。写真は本校オリジナルキャラクター「和守(かずもり)くん」の紹介。この発表は、夕方のテレビ



ニュースでも取り上げられました。発表担当：長原翔久さん(2年)、小暮好花さん(2年)、久保田かれんさん(2年)、関勇英さん(1年)、大友みさとさん(1年)

◆第1回読書会を開催！

11月9日、今年度1回目となる読書会を行いました。「～読書会ハ読書ノ団体戦ダ～」と題し、「ワスレナグサ(星野道夫)」の作品を題材に、感じたことなどをグループ内で発表し合う形式で行いました。生徒達がそれぞれに感じたことを共有する中で、新しい発見や感動を得るなど有意義な会となりました。



◆第1学年フェニックスゼミ・スペシャルディ

11月4日、Pゼミスペシャルディを実施しました。1学年が進めているゼミ活動のスペシャルディとして、この日、各ゼミ毎にフィールドワークに出掛けました。今年度のゼミは16種の講座となり、それぞれSDGsの17の目標にアプローチします。このスペシャルディでは実地調査だけでなく、地域課題を現地で考察したり、スペシャリストから詳しいお話を聞いたりするなどの探究的活動を行います。成果発表会は1月に開催されます。



あすと長町の「仙台89ERS」のオフィスにお邪魔しました。創立80周年記念講演講師を志村雄彦社長に正式依頼するため、加藤吉男実行委員会会長(同窓会長)と和泉恭子副会長(PTA会長)、岩井誠校長が訪問しました。



◆新人大会・コンクール結果速報！

・県JOCジュニアオリンピックカップ予選

男子エベ(ジュニア)阿部誠貴(2年)1位／男子エベ(ジュニア)笠原琉希(2年)2位／男子エベ(カデ)松浦權斗(2年)1位／男子サーブル(ジュニア)亀田蒼(2年)2位／男子サーブル(カデ)小野有紀(2年)1位 **※5名は全国大会出場決定**

・県高校新人陸上競技大会

男子棒高跳び高橋改(2年)6位／女子やり投げ高橋碧(2年)8位

・県高校新人剣道大会

女子個人武藤凜(1年)3位

・県高校新人弓道大会

男子団体ベスト8

・県高校新人水泳競技大会

男子50mバタフライ熊坂綾介(1年)5位
同100m7位／女子100m自由形大槻碧(2年)8位

・県高校放送コンテスト新人大会

朗読部門 栗栖千空(2年)優良賞 **※東北大会出場決定**

・県演劇コンクール中央大会

優秀賞第一席・東北放送賞 『missing』作:杉内浩幸(創作)

※東北大会出場決定

・県高校写真展

「錆びついて歯車止めたのち針を巻き戻す月の夜の凍てつき」菅本勇馬(2年)入選
「結び」引地萌恵(2年)入選
「明るい未来へ」立花彩夏(2年)入選
「優秀校」



◆防災リーダー養成講座を実施

11月18日、放課後に行われた防災リーダー講座に、各クラスの防災委員と希望生徒が参加しました。講師は先に行われた避難訓練に引き続き、仙台市防災・減災アドバイザーの折腹久直様に担当していただき、ハザードマップの見方や災害発生時にどのようにしたらよいか、分散避難の3ステ



ップなど多くのことを学びました。今回学んだことを、生徒間で共有し防災の知識をさらに広めていきたいと思ひます。この講座は、貝ヶ森市民センターの主催で本校生徒を対象に毎年開催して頂いております。